

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

拒絶理由通知書 Mailing Date: August 5, 2003  
Office Action

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 特許出願の番号  | 平成 1 0 年 特許願 第 3 7 2 0 6 6 号 |
| 起案日      | 平成 1 5 年 7 月 1 0 日           |
| 特許庁審査官   | 植前 津子 9 4 3 8 3 B 0 0        |
| 特許出願人代理人 | 羽鳥 修 (外 1 名) 様               |
| 適用条文     | 第 2 9 条第 2 項                 |

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

<請求項 1 ~ 5 >

引用文献 1 及び引用文献 2 (第 3 図参照) に示すように、フラップ部に本体吸収体とは隔離されたフラップ用吸収体を設けることは周知であり、該構成を後方ウイング部を有する吸収性物品に採用することは、例えば引用文献 1 第 5 図の記載等から当業者が容易になし得ることである。

なお、引用文献 1 及び 2 にはウイング用吸収体に吸水紙等の各種素材を採用可能であることが記載されており、該素材を選択する際に、吸水性能や座屈強度等を考慮することは当業者が適宜なし得ることである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 実願平 5 - 7 5 7 3 1 号 (実開平 7 - 3 6 2 2 号) の C D - R O M
2. 実願昭 5 6 - 1 0 5 8 7 5 号 (実開昭 5 8 - 1 3 2 2 3 号) のマイクロフィルム

- ・ 調査した分野 I P C 第 7 版 A 6 1 F 1 3 / 1 5 ~ 1 3 / 8 4
- ・ 先行技術文献 特開昭 6 3 - 2 0 3 1 5 6 号公報  
(ヨレ防止のため側方部の座屈強度を考慮した吸収性物品)  
特開平 8 - 3 2 2 8 7 9 号公報  
米国特許第 4 2 8 5 3 4 3 号明細書  
(本文献は、当該発明の属する技術分野における一般的技術  
水準を示す文献である)

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。



実用新案登録願 (1)

昭和 56 年 7 月 16 日

特許庁長官 島 田 春 樹 殿

1. 考 案 の 種 類

星 通 用 ナ フ キ ン

2. 考 案 者

フリガナ  
住 所

愛媛県 川之江市 川之江町 2666

フリガナ  
氏 名

齋 木 肇 (ほか2名)

3. 実用新案登録出願人

フリガナ  
住 所

愛媛県 川之江市 釜屋町 下分 182 番地

フリガナ  
氏 名 (名称)

ユニ・チャーム株式会社

(国 籍)

代表者 高 原 隆 一 郎

4. 代 理 人 〒 105

住 所

東京都港区新橋 3 丁目 12 番 10 号 馬場ビル

氏 名

(6625) 特許士 白 浜 吉 治



5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1 通  
(3) 願 書 副 本 1 通

56. 7. 17

出願第二回  
検印

(2) 図 面 1 通  
(4) 委 任 状 1 通

式 査  
書



13223

56 105873-255

6. 前記以外の考案者

愛媛県<sup>カノエ</sup>川之江市<sup>ササノ</sup>妻鳥町<sup>マツノ</sup>松木 874-1

村 上 正 樹

愛媛県<sup>カノエ</sup>川之江市<sup>カンセイ</sup>金生町<sup>ヤマダ</sup>山田井平木 1183

浜 田 草 音 谷

明 細 書

1. 考案の名称

生理用ナブキン

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 下部吸収材の上面中央部にこれよりも細幅で厚層の上部吸収材を重ね、前記下部吸収材よりも広い不透水性シートを前記下部吸収材の下面からその幅方向両側部の上面に位置させ、この積層体を透水性シートで被覆して幅方向両側部にフラップを形成してあることを特徴とする生理用ナブキン。
- (2) 上部吸収材は幅が異なる複数のシート状吸収材をその幅方向両端部がずれるように重ねることにより形成してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の生理用ナブキン。
- (3) 上部吸収材はシート状吸収材の中央部を折畳ねることにより形成してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の生理用ナブキン。
- (4) 上部吸収材の幅方向両側部に位置する透水性



シートを縦状に熱圧（溶）着することによりその縁上部分を下部吸収材に接合してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第 1 項、第 2 項又は第 3 項記載の生理用ナプキン。

(5) 下部吸収材と上部吸収材との間に該下部吸収材の上面を覆う大きさの熱可塑性で疎水性のネット状シートを位置させ、前記上部吸収材の幅方向内側部に位置する透水性シートを縦状に熱圧（溶）着することによりその縁上部分を前記ネット状シートを介して前記下部吸収材に接合してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第 4 項記載の生理用ナプキン。

(6) 下部吸収材の上面に上部吸収材を重ねた状態でのそれらの上面にこれを覆う大きさの熱可塑性で疎水性のネット状シートを位置させ、前記上部吸収材の幅方向内側部に位置する透水性シートを縦状に熱圧（溶）着することによりその縁上部分を前記ネット状シートを介して前記下部吸収材に接合してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第 4 項記載の生理用ナプキン。



### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、湿紙に特徴を有する生薬用ナプキンに関する。

従来、装着性を向上させるなどのため、肌当接面の中央部を厚層に形成した所謂中高ナプキンが提案されているが、未だ実用に供されていない。

この公知ナプキンは、単に従来のナプキンの中央部を厚層にすることにより中高に形成するか、或は単に幅方向又は／及び長手方向の両側部を圧縮することにより中高に形成したものに過ぎないため、却つて従来の扁平なナプキンよりも使用感が増大し、装着性も必ずしも向上したものとはいえないなどの欠点がある。

本考案の目的は、従来のナプキンが有している吸収性、使用上の安心感などの利点を維持しながら、従来のナプキンに比較して装着性が優れ、使用感を減少させることができるなどの利点を有するナプキンを提供することにある。

前述の目的を達成するための、本考案の要旨とする処は、下部吸収材の上面中央部にこれよりも



細幅で厚層の上部吸収材を重ね、前記下部吸収材よりも広い不透水性シートを前記下部吸収材の下面からその幅方向両側部の上面に位置させ、この積層体を透水性シートで被覆して幅方向両側部にフラップを形成してあることを特徴とする生理用ナプキンに存する。

更に本考案を図示の実施態様に基づいて説明すると、以下の通りである。

第 1 図はナプキンの平面図、第 2 図～第 4 図はナプキンの基本的構成態様を示す幅方向断面図を示す。

第 2 図に示すナプキン 1 は、下部吸収材 2 の上面中央部にこれよりも細幅で厚層の上部吸収材 3 を重ね、下部吸収材 2 よりも幅広の不透水性シート 4 を下部吸収材 2 の下面からその幅方向両側部に位置させ、この積層体を透水性シート 5 で被覆するとにより幅方向両側部にフラップ 6 を形成し、且つ上部吸収材 3 の幅方向両側部に位置する不透水性シート 5 を線状に熱圧（溶）着することによりその線状部分 7 を下部吸収材 2 に接合してあ

る。

第 3 図に示すナブキン 1 は、下部吸収材 2 と上部吸収材 3 との間に下部吸収材 2 の上面を覆う大きさの熱可塑性で疎水性のネット状シート 8 を位置させることにより、又、第 4 図に示すナブキン 1 は、下部吸収材 2 の上面に上部吸収材 3 を重ねた状態でのそれらの上面にこれを覆う大きさの熱可塑性で疎水性のネット状シート 8 を位置させることにより、前記接合をよくするようにしてあつて、その他の構成は第 1 図に示すナブキン 1 と同じである。

次に、第 5 図～第 8 図はナブキンの前記上部吸収材 3 の各構成態様を示す幅方向断面図を示す。

第 5 図、第 6 図に示すナブキン 1A、1B の上部吸収材 3 は、幅が異なるシート状吸収材 3a、3b をその幅方向両端部がずれるように重ねることにより、又、第 7 図、第 8 図に示すナブキン 1C、1D はシート状吸収材 3a の中央部 3b を折直ねることにより、その中央凸部と両側フラップ部 6 との段差が緩やかになるようにしてあつて、その他の構成



は第 1 図～第 4 図に示すナブキン 1 と同じであり、且つ前記ネット状シート 8 を必要に応じて位置させること及びその部位も第 3 図～第 4 図の場合と同じである。

各ナブキン 1, 1A, 1B, 1C, 1D の各部位の好ましいサイズは、第 3 図に示すように中央部の厚さ  $t_1$  が 4 ～ 8 mm 又は 8 ～ 12 mm、フラップ部の厚さ  $t_2$  が 1 ～ 3 mm 又は 2 ～ 5 mm、中央部の幅  $w_1$  が 40 ～ 60 mm、フラップ部 6 の幅  $w_2$  が 10 ～ 23 mm であり、尚  $t_1$  が 4 ～ 6 mm、 $t_2$  が 1 ～ 3 mm は普通型ナブキンの場合、 $t_1$  が 8 ～ 12 mm、 $t_2$  が 2 ～ 5 mm は大型ナブキンの場合を示し、その他は何れの場合でも同じである。

尚、下部吸収材 2、上部吸収材 3 は、従来ナブキンに一般に用いられているような素材、例えば、クレープ吸水性紙、粉砕パルプ、水不溶性・吸水膨潤性ポリマー等、不透水性シート 4 も同様に、防水紙、合成樹脂フィルム、該フィルムと紙のラミネートシート等、透水性シート 5 は、不織布等を用いることができるが、本考案はそれら素材に



制限されるものではない。又透水性シート5の幅方向両端部9は互に重ね、長手方向両端部10は熱圧（溶）着で接合するようにしてあることも、従来のナプキンと同じである。

本考案は以上のように構成してあるから、既述した所期の目的を達成することができる。特にナプキンの肌当接中央部と幅方向両側部のフラップとの段差を少なくしたものにおいては、ナプキンを装着して歩く時にナプキンの幅方向両側部が太ももにこすれたり、両太もも間に挟まれた状態で従来のナプキンの中央部に生ずるが如き皺が生じたりすることなどに伴う使用感がなく、しかも女性局部に対する密着性が向上し経血の漏れを有効に防止することができる。更に上部吸収材の両側部に位置する透水性シートを下部吸収材に線状に接合したものにおいては、経血の吸収上最も重要なナプキンの中央部に位置する上部吸収材が装着時に移動することがないなどの効果を有する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案実施態様を示すナプキンの平

面図。

第 2 図、第 3 図、第 4 図は、本考案の基本的各実施態様を示すナプキンの幅方向断面図。

第 5 図、第 6 図、第 7 図、第 8 図は、第 2 図、第 3 図、第 4 図に示すナプキンの上部吸収材の構成例を示す幅方向断面図。

1, 1A, 1B, 1C, 1D・・・ナプキン

2・・・下部吸収材

3・・・上部吸収材

4・・・不透水性シート

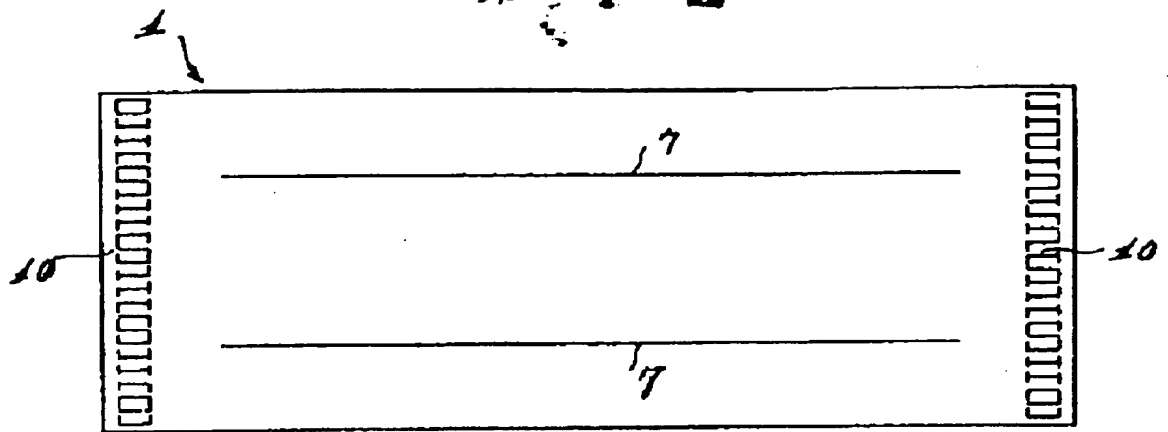
5・・・透水性シート

6・・・フラップ

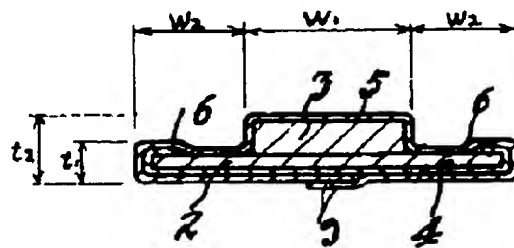
代理人 井 堀 士 白 浜 吉 治



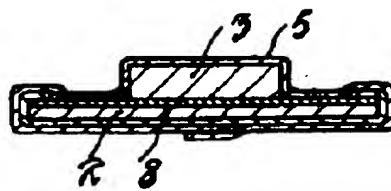
第 1 圖



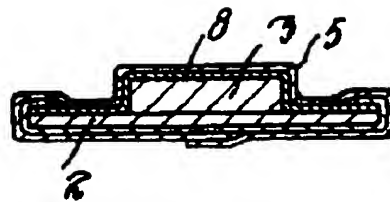
第 2 圖



第 3 圖

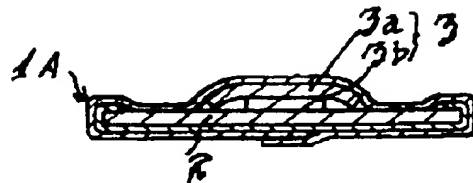


第 4 圖



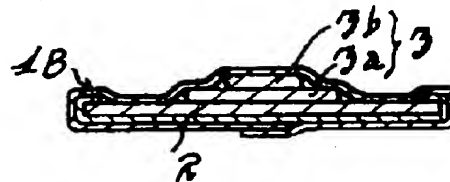
1/2

第 5 図

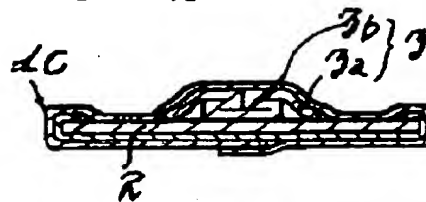


6.

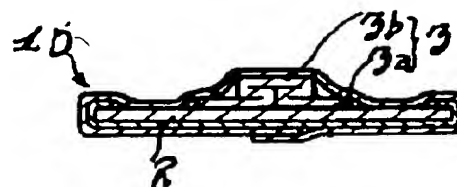
第 6 図



第 7 図



第 8 図



7/

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 58-13223

Laid-Open Date: January 27, 1983

Japanese Utility Model Application No. 56-105875

Filing Date : July 16, 1981

Inventors: Migaku Suzuki  
Masaki Murakami  
Sayuri Hamada

Applicant: UNI-CHARM CORP.

## **Sanitary Napkin**

### **Claims**

1. A sanitary napkin 1 comprising a lower absorbent member 2, an upper absorbent member 3 having a narrower width and a larger thickness than the lower absorbent member 2, a water-impermeable sheet 4 having a wider width than the lower absorbent member 2 and a water-permeable sheet 5, and having a pair of flaps 6 at the lateral sides of the napkin 1, the upper absorbent member 3 being overlaid on the upper center of the lower absorbent member 2, the lower absorbent member 2 being disposed on the water-impermeable sheet 4 in such a manner that the lateral sides on the upper surface of the lower absorbent member 2 being covered by the water-impermeable sheet 4, the overlaid body of absorbent members 2, and 3 and the sheet 4 being covered with the water-permeable sheet 5.
2. The sanitary napkin 1 according to claim 1, wherein the upper absorbent member 3 comprises a plurality of absorbent sheets which are overlaid with each other in such a manner that the lateral edges of each sheet are not present at the same position.
3. The sanitary napkin 1 according to claim 1, wherein the upper absorbent member 3 comprises a folded absorbent sheet in which a folded-back portion is present at

the center position of the sheet.

4. The sanitary napkin 1 according to any one of claim 1, 2 or 3, wherein the water-permeable sheet 5 extending laterally from the lateral edges of the upper absorbent member 3 is thermally bonded to the lower absorbent member 2 in such a manner that the bonded area 7 forms a linear shape.
5. The sanitary napkin 1 according to claim 4, wherein a thermoplastic and hydrophobic net 8 having an enough size to cover the upper surface of the lower absorbent member 2 is interposed between the lower absorbent member 2 and the upper absorbent member 3, and the water-permeable sheet 5 extending laterally from the lateral edges of the upper absorbent member 3 is thermally bonded to the lower absorbent member 2 via the net 8 in such a manner that the bonded area 7 forms a linear shape.
6. The sanitary napkin according to claim 4, wherein a thermoplastic and hydrophobic net 8 having an enough size to cover the upper area of the overlaid structure comprising the lower and upper absorbent members 2, 3 is placed on the upper area of the overlaid structure, and the water-permeable sheet 5 extending laterally from the lateral edges of the upper absorbent member 3 is thermally bonded to the lower absorbent member 2 via the net 8 in such a manner that the bonded area 7 forms a linear shape.

#### Excerpts from the detailed description of the device

Any materials generally used for the conventional sanitary napkins are usable in the present device, for examples, creped absorbent paper, pulverized pulp, water-insoluble and water-swellaible polymer for the lower absorbent member 2 and the upper absorbent member 3; waterproof paper, synthetic resin film, laminate of the film and paper for the water-impermeable sheet 4; nonwoven fabric for the water-permeable sheet

5. The present device should not be limited to these materials.

According to the sanitary napkin of one embodiment where there is a little

height difference between the center portion of the skin-contacting surface of the napkin and the flaps on the lateral sides, the following advantageous effects can be exhibited. That is, the napkin is free from uncomfortable feeling which has been caused in the conventional napkins by the rubbing action of the lateral sides of the napkin against the wearer's thighs while walking in use, and wrinkles or deformation formed in the center of the napkin when it is subjected to the force in the width direction by the thighs. The close contact of the napkin to the wearer's body is improved, so that the leakage can be effectively prevented. According to the napkin of another embodiment where the water-permeable sheet extending laterally from the lateral edges of the upper absorbent member is linearly sealed to the lower absorbent member, the upper absorbent member which is located at the center part of the napkin and is the most important element for absorbing the liquid, does not move and change from the proper position.